

更新

事業者名

KMバイオロジクス株式会社

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

医薬品の製造・供給や開発による疾病の治療や感染症の予防、新生児マススクリーニングによる患者QOLの向上や動物用ワクチンの開発・供給を通じた食の安全への貢献。さらに顧客や株主等、ステークホルダーと連携して、地域にとどまらず、世界の人々の「健康で豊かな未来」に貢献できる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	医薬品の開発・製造・供給を通じた社会課題(感染症・希少疾病・難病対策)の解決 ①新型コロナワクチンの上市 ②新規ワクチン・新規製剤開発テーマの着実な進捗 ③新生児拡大スクリーニングのエリアの拡大	①自社開発の不活化コロナワクチンの早期供給開始 ②気候変動による疾病の拡大防止のためのワクチン・製剤開発 ③早期発見により治療可能な疾患のスクリーニング受注エリア拡大
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	環境への配慮 ①CO ₂ の排出量削減 ②総使用電力量に占める再生エネルギーの割合 ③空調機器の更新による特定フロン全廃 ④こもれびの森®の整備による生物多様性保全と認証の維持 ⑤ウォーターニュートラルの維持	①2026年までに2019年度比30%削減 ②2026年度期末時に25%以上 ③2026年度までに120 台の空調機器を更新 ④SEGES認証 Excellent Stage3の維持 ⑤80万t/年の水田湛水
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	豊かな社会づくり ①働きやすい職場づくり ②健康経営の推進 ③顧客との良好なコミュニケーション ④社会貢献活動の実施	①多様性の尊重の実現(女性活躍推進、LGBTQ+に対する理解を推進するための毎年の講演会、研修)の実施 ②年1回以上の社内の健康経営イベントの実施 ③周辺住民や患者団体、医療関係者との毎年の交流会の実施 ④社員全員による毎年1回以上の社会貢献活動の実施

<パートナーシップ>

・熊本市:美化協定締結
・熊本大学:疾患の検査・治療等についての共同研究を実施
・サントリーHD:湛水事業に関する情報共有および連携
・くまもとSDGs推進財団:災害時の対応、環境関連の情報について意見交換
・阿蘇グリーンストック:野焼き支援ボランティア(阿蘇草原応援サポーター認定事業者)等で連携
・肥後銀行:サステナビリティ推進関連で連携
・JNC株式会社:労働安全衛生分野で連携

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	医薬品の開発・製造・供給を通じた社会課題(感染症・希少疾病・難病対策)の解決 ①新型コロナワクチンの開発 ②新規ワクチン・新規製剤開発テーマの着実な進捗 ③新生児先天性代謝異常等の早期発見・早期治療開始による患者QOLの向上	①自社で開発した新型コロナワクチンを可能な限り早期に供給を開始する。 ②新規テーマを計画通りに進捗させる。 ③新生児マススクリーニング検査対象疾患の計画に沿った拡大	①新型コロナワクチンは、変異株での製造を目指すことになり、今だ供給できず。 ②新規テーマは、デングワクチンの開発等を中心に順調に進捗。 ③熊大と研究を行い、検査を新たな疾患(SMA、SCID等)に拡大。
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	環境への配慮 ①CO ₂ の排出量削減 ②総使用電力量に占める再生エネルギーの割合 ③空調機器の更新による特定フロン全廃	①2023年までに2015年度比7.5%以上削減 ②2023年に15%以上 ③計画に従い、2023年までに60台の空調機器を更新(29年までに461台を全廃)	①グループ内の基準が2019年度に変更された為、判断できず。 ②15%の再生エネルギーを購入中。 ③予定通り60台の空調機器を更新。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	豊かな社会づくり ①働きやすい職場づくり ②健康経営の推進 ③顧客との良好なコミュニケーション ④社会貢献活動の実施	①多様性の尊重の実現(女性活躍、障がい者雇用)等 ②健康優良法人ホワイト500の認証継続 ③顧客の意見を反映した製品・資材の改良を行う等 ④ボランティア活動・学校での出張授業等を実施等	①社内の女性社員の相談会、研修等を合計11回実施。 ②23年度までホワイト500の認証継続。 ③顧客の意見を取り入れ、インフルエンザワクチンの破瓶0を達成。 ④約2,000人の従業員が延べ5,000回以上のボランティア活動を実施。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。